【第４次　１３時間目／全１４時間】　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　担当　　石塚　智久

（１）本時のねらい

　　　　　佐野藤三郎の働きについて，「食の新潟国際賞」について調べることを通して，亀田郷の発展に尽くした佐野藤三郎の業績が，将来にわたって語り継ぐべき郷土の誇りであることが分かる。

（２）本時の展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学習活動 | 教師の働き掛けと予想される児童の反応 | 資料と留意点 |
| １　「食の新潟国際賞」のこれまでの受賞研究テーマを調べ，農業や食料供給について世界的な視野で顕彰するという賞の趣旨が分かる。  （８分） | Ｔ１　新潟には「食の新潟国際賞」という賞があります。世界中から優れた研究をした人を表彰します。どういう研究をした人が表彰されているでしょうか。  Ｃ１　食べ物のことを研究した人が多い。  Ｃ２　世界中で食糧を作るためにがんばっている人を表彰する賞だ。  Ｃ３　新潟は米づくりがさかんだから，食糧のことに関係する賞を作ったんじゃないかな。 | ○「食の新潟国際賞パンフレット」を拡大して黒板に掲示する。「佐野藤三郎記念」は伏せる。  ○資料「食の新潟国際賞受賞者一覧」を配付する。食糧に関する研究に対する国際賞だということを読み取る。 |
| ２　この賞が「佐野藤三郎記念」と冠していることを知り，佐野藤三郎の何を記念するものなのかに疑問をもち，学習課題を設定する。（７分） | Ｔ２　実はこの賞の正しい名前は「佐野藤三郎記念食の新潟国際賞」です。  Ｃ４　佐野さんが作った賞なのかな？  Ｃ５　国際，新潟とあるのに，なぜ佐野さんの記念なのかな？  Ｔ３　なぜ佐野藤三郎さんの名前が付いているのでしょう。   |  | | --- | | 「食の新潟国際賞」には，なぜ佐野藤三郎さんの名前が付いているのだろう。 | | ○伏せておいた「佐野藤三郎記念」を見せる。  ◯資料「佐野藤三郎年表」で確認する。 |
| ３　佐野藤三郎の功績と食の新潟国際賞理事長のことばから，賞の理念と佐野のつながりを読み取る。  （２５分） | Ｔ４　これまで勉強した佐野さんの仕事を振り返って考えましょう。  Ｃ６　佐野さんのおかげで，あし沼だった亀田郷は米がたくさん取れるようになった。そのことを忘れないためかな。  Ｃ７　佐野さんは亀田郷だけではなく，世界の国にも農業の技術を広めようとした。その功績をたたえるためかな。  Ｃ８　佐野さんは農業と町の暮らしをどちらも大切にした。新潟の発展を支えた人だから名前を付けたんじゃないかな。  Ｔ５　「食の新潟国際賞」の初代理事長の古泉さんは，この賞を作った目的をこのように言っています。  Ｃ９　佐野さんを「食の新潟を生み出した先人」と書いている。  Ｃ10　佐野さんのおかげで亀田郷は「有数の美田」に変わった。  Ｃ11　佐野さんが中心となって頑張ったから，あし沼だった亀田郷が世界に技術を伝えるくらい米作りが盛んになった。その努力を忘れないようにしたかったんじゃないかな。   |  | | --- | | 亀田郷の発展のために努力した佐野藤三郎の思いを世界の人たちに知らせ，これからも忘れないようにしていくため。 | | ○これまでの学習を振り返り，佐野の功績を根拠に自分の考えをもたせる。  ○資料「佐野藤三郎年表」を振り返らせる。  ○児童の考えを出し合った後，資料「初代理事長の言葉」を提示する。 |
| ４　佐野藤三郎は将来にわたって語り継ぐ，郷土が誇るべき偉人であることをまとめる。  （１０分） | Ｔ６　第１回の受賞者モンティ博士は，佐野さんのことをどう思っていたでしょうか。インタビューを見てみましょう。  Ｃ12　亀田郷のために働いた佐野さんのことを，日本以外の人も素晴らしいリーダーだと言っている。  Ｃ13　私たちの住む亀田郷で，世界で認められる佐野さんのような人物がいたなんて驚いた。  Ｔ７　学習の振り返りをノートに書きましょう。 | ○映像⑭「食の新潟国際賞」の受賞者のインタビューを視聴させる。 |